

雲の上のまち



た報

# ゆすはら



準優勝を果たした第5分団の選手の皆さん

第5分団 全国消防操法大会準優勝 〈P2〉

3年ぶり 龍馬脱藩マラソン大会開催〈P3〉

太郎川公園森林アクティビティ 開催 〈P4〉

ゆすはらグルメウィーク 初の開催 〈P6〉

長寿者訪問、祝 百歳 〈P8〉

ゆすはら地域おこし協力隊「森林の循環に取り組みたい！」〈P16〉

etc...

**11** **2022**  
〈令和4年〉  
No.773  
**月号**

●世帯数/1,741 (9月末)  
1,737 (10月末)  
●人口/3,270 (9月末)  
3,259 (10月末)  
○出生… 0 ○死亡… 5  
○転入等… 2 ○転出等… 8

# 第5分団 全国消防操法大会準優勝

「第29回全国消防操法大会」が、10月29日（土）千葉県市原市の千葉県消防学校で開催され、梶原消防団・第5分団が、高陵地区から初となる出場、また、高知県代表として出場しました。

この全国大会は、「自動車ポンプの部」と「小型ポンプの部」があり、消防団員の操法技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実発展に寄与する事を目的として2年に1度、開催されています。

今回は各都道府県の代表として、自動車ポンプ車操法の部に21消防団、小型ポンプ操法の部に24消防団が出場しました。

第5分団の選手は、全国大会での優勝を目指し、週3回、仕事を終えた後の練習を積み重ね、モチベーションを維持しながら大会に臨みました。

第5分団の競技順番は12番目と、緊張感を持續できるかどうか難しい中で競技開始を迎えました。

小型ポンプやホース等の配置を完了し、競技開始位置へ移動後、審査員の「操法開始」の合

図と共に、指揮者が回れ右をし「気をつけ」、「番号」の号令。20mホース3本を結合し延長、63m先の標的を倒すまでの基準タイムは45秒。標的が倒れた後も、元の位置へ各選手が帰り、指揮者の「別れ」まで、選手の一挙手一頭足が審査されており、好タイムが出ていても気を抜けない中、大きなミス無く、競技を終え、タイムは手元の時計で41秒を切った好タイム。競技終了から集計を終え、会場内に放送で「高知県高幡消防組合梶原消防団の得点92点。タイム40・86秒」と、発表されました。

その後、優勝候補の消防団が次々と競技を終え、最後の24番目出場消防団の得点及びタイムが発表された結果、梶原消防団は、4位となりました。大会の審査要領では、1位・優勝、2位・準優勝、5位・10位・優良賞となり、梶原消防団は見事、準優勝することができました。

本大会は、令和2年10月16日（金）に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期が続きましました。令和元

年の「高知県消防操法大会」において、小型ポンプの部で優勝した梶原消防団第5分団が、高知県の代表として出場しました。選手の実力は元より、ご家族の協力と地域住民の方々のご協力、町民の方々のご声援と励ましのお言葉なくしては成し得なかつたと考えます。

今後におきましても梶原消防団員一丸となり、操法技術の向上はもとより、防火防災に尽力し、町民の生命・身体及び財産を守りながら努めてまいります。今後とも、さらなるご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

津野山分署

## 競技結果

### ■小型ポンプ操法の部

- 優勝 新宮町消防団(福岡県)
- 準優勝 三種町消防団(秋田県)
- 準優勝 横須賀市消防団(神奈川県)
- 準優勝 梶原消防団(高知県)
- 優良賞 瑞穂市消防団(岐阜県)
- 優良賞 日高消防団(北海道)
- 優良賞 大野市消防団(福井県)
- 優良賞 富山市消防団(富山県)
- 優良賞 益子町消防団(栃木県)
- 優良賞 五島市消防団(長崎県)



梶原町第5分団選手紹介

- 也志 拓政
- 策彦 雄二
- 川上 田越
- 横川 隅中
- 班長 川宮
- 団員 長
- 1番員 副団長
- 2番員 副団員
- 3番員 副団員
- 補助員



# 3年ぶり 龍馬脱藩マラソン大会開催

龍馬脱藩マラソン大会は、梶原町の歴史的遺産である坂本龍馬脱藩の道を利用し、地域住民および、関係団体や、行政機関、学校が協働し、町のPRや地域の活性化につながることを目的として、平成23年度より開催しております。

本年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、3年ぶりの開催となりましたが、皆様のご協力をいただき、10月9日(日)に制限を設けながらも無事開催となりました。

## 【参加者】

例年は1、500名のエントリーをいただいている本大会ですが、今年はエントリー者数を制限して募集を行ったところ、北は北海道から、南は熊本県まで820名の方のエントリーをいただきました。当日は、712名の方が出走され、694名の方がみごと完走、脱藩を果たされました。

## 【開会式】

開会式は空岡則明実行委員長より開会宣言を、吉田尚人町長より選手の皆さんへ歓迎のあいさつがありました。その後、高

知県知事代理高知県文化スポーツ部スポーツ振興監三谷哲生様、西宮市長代理副市長北田正広様からご祝辞をいただき、ランナー代表の中谷元様に選手宣誓をいただきました。

## 【スタートからゴールまで】

開会式後、9時にフルマラソンの部、9時30分にハーフの部、10時に10kmの部がスタートしました。

ランナーの皆さんは各エイドやコースの、地域の方や各種団体の方、そして梶原高校の生徒の皆さんからの声援にこたえるように、走っていました。

ゴールでは、梶原高校生が「おもてなし」としてオリジナルのメダルの配布や、リアルタイム映像の配信を行いました。

また西宮市との友好交流を記念した友好都市特別賞は兵庫県から参加された橋本正勝様、梶原町からは中越靖様が受賞されました。

入賞・受賞された皆様、おめでとうございます。

## 【大会結果】

各部門の優勝者の方は次のとおりです。(敬称略)

- フル 18歳〜49歳の部 (男子)
- 前田 涼 (徳島県)
- フル 18歳〜49歳の部 (女子)
- 松崎 由紀 (高知市)
- フル 50歳以上の部 (男子)
- 竹村 高幸 (高知市)
- フル 50歳以上の部 (女子)
- 倉本 由美子 (愛媛県)
- ハーフ18歳〜49歳の部 (男子)
- 竹田 良太 (高知市)
- ハーフ18歳〜49歳の部 (女子)
- 二宮 歩美 (愛媛県)
- ハーフ50歳以上の部 (男子)
- 清家 博之 (愛媛県)
- ハーフ50歳以上の部 (女子)
- 石河 智子 (愛媛県)
- 10km 18歳〜49歳の部 (男子)
- 山崎 竹丸 (高知市)



フルマラソントップランナーゴール!



龍馬さんの待つゴールへ



ハーフ50歳以上表彰式の様子



フルマラソン名物山道と応援



フルマラソン スタート!

最後にになりましたが、多くのボランティアの方の協力があつたからこそ本大会が開催できました。また、地域の皆さんからの温かいご声援をいただいたことで、大会が盛り上がり、選手の方の励みにもなりました。選手の方の皆さん、スタッフの皆さん、ご協力いただいた皆さん、誠にありがとうございました。

龍馬脱藩マラソン大会実行委員会

- 10km 18歳〜49歳の部 (女子)
- 宇都宮 すみ (愛媛県)
- 10km 50歳以上の部 (男子)
- 鎌田 真吾 (愛媛県)
- 10km 50歳以上の部 (女子)
- 宮田 香織 (愛媛県)

# 太郎川公園森林アクティビティ開催

## ♪満開の桜山を未来につくろう♪

10月2日(日)、太郎川公園で、森林アクティビティを開催しました。本イベントは、植樹やまき割り、木工品づくり等の体験活動を通じて、林業や森林の利活用を学んでいただくことを目的としています。

当日は、秋晴れの下、町内外

から50名を超える方々が来場しました。サクラの植樹では、HARDWOOD株式会社(東京都)の樹木医によるユニークな桜の話聞いた後、ヤマザクラの苗木40本を、木材を切り出した伐採地に丁寧に植えました。苗木がしっかりと根付くように土に

炭を混ぜ、またウサギやシカから苗木を守るために防護ネットも設置しました。慣れない山道を登り、初めてクワを使った方が大半でしたが、家族や友人たちと協力して一所懸命に取り組みました。参加者の皆様は、山づくりの第一歩である大切な活動、植樹を終え、そして山の上から見える美しい景色に満足された様子でした。

高知水源林育成士会(高知市)からは、森林スタンプラリーと称して、森林をテーマにしたクイズや木材を利用したボーリング、ダーツ等を出展していただきました。多くの子どもたちが遊びを通して、森林の役割や木の大切さを学習したようです。

また、株式会社なかよしライブラリー(香美市)出展の木の箸づくりでは、木の色や堅さ等、木の特徴を学びながら、カンナを使った本格的なお箸づくり



一緒に桜山をつくりましょう!



丁寧にヤマザクラの苗木を植える参加者



子どもも大人も力を合わせて、みんなで作業



上手に割れるかな?



親子で仲良くバードコールづくり

りを楽しみました。参加された方は、木を削る音や感触、木の香りに、心身共に癒されたのではないのでしょうか。

今回植樹したサクラが大きく立派に育つまで、何十年という長い年月がかかりますが、時折、生長したサクラの様子を見るために、太郎川公園まで足を運んでいただくと幸いです。

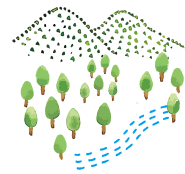
最後に、フードコーナーの出



実物に触って植物の勉強中

展を含め本イベントの開催にご協力、ご尽力いただいた町内外の皆様には厚く感謝申し上げます。

梶原令和の森林づくり協議会  
森林の文化創造推進課



ゴロゴロゴロ！木のボーリング おもしろ～い

### 出 展 団 体

- HARDWOOD株式会社
- Soto
- 高知水源林育成士会
- チームシルク
- 株式会社なかよしライブラリー
- 梶原竹ぼうきの会



カンナを使ってお箸づくり！職人さんみたい！



装飾品グリーンスワッグづくり  
草花を活かそう！

## ゆすはらグルメウィーク開催！

9月26日(月)～10月2日(日)にかけて初めての試みとなる「ゆすはらグルメウィーク」を開催しました。

これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止などの観点から新しい開催の形として企画したものです。期間中はミシュラン二つ星シェフでゆすはら未来大使でもある下村浩司氏と町内飲食店11店舗がコラボメニューを、そのほか7店舗がそれぞれ期間限定メニューを提供し多くのお客様にご堪能いただきました。また、最終日を含む土日の2日間は町外から人気のキッチンカーも大集合し、町内の集落活動センターによる名物料理の提供、商工会青年部による飲料販売も加わって町中部の会場は大変な賑わいとなりました。

土日2日間においては、コロナウイルス感染予防対策として数カ所に検温ブースを設置し、また検温済の目印としてリストバンドの配布も併せて実施しました。

2日間の来場者は約3000人となり、各店舗では行列もできるなど混雑も見られましたが、事故等もなく好評のうちに終了することができました。本イベントにご参加いただいた町内飲食店や各種団体、事業者の皆様が連携し、おもてなしの心をもって対応いただいたものと感じております。今後につきましては、今回の経験を生かし社会の変化に対応した開催の在り方や運営方法の検討などよりよい形を模索しながら繋げてまいります。引き続き町民の皆様のご指導ご支援をお願いいたします。

梶原町グルメまつり実行委員会



グルメウィーク来場者の様子や限定メニュー

## ゆすはらフェア開催 [10月1日・2日ひろめ市場にて]

10月1日(土)・2日(日)の2日間、高知市のひろめ市場南広場で梶原町の特産品をPRする「ゆすはらフェア」を開催しました。今年は2年ぶりの開催で、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、観光客の方などへ梶原町の特産品を販売し魅力をPRしました。

新鮮な野菜やパン・スイーツ、いたどりうどんやキジの加工品などに人気があり、来場者の方は楽しそうに商品を選んでいました。初日の様子がテレビで放送されたことで、2日目は「昨日のテレビでゆすはらフェアを見て買いに来た」という来場者がたくさんいました。ひろめ市場でのイベントは、県外からの観光客が多く、梶原の魅力を知ってもらいファンを増やす機会となっています。

集落活動センターゆすはら連絡協議会

まちづくり推進課



ひろめ市場での特産品販売の様子



多くの物がリユースされました

# 「もったいない」からリユースしよう！くるくるショップ 開催

10月23日（日）、梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会では、「くるくるショップ」を開催しました。

「くるくるショップ」とは、まだ使うことができる不要になった物を持ち寄り、希望者に無料で持ち帰ってもらう、リユース（再利用）によるごみの減量を目指すとした取り組みです。

推進員の自宅や近所の方から預かってきた洋服や靴、生活雑

貨など、さまざまな物が集まり、新しい持ち主へお渡しすることができました。

その結果、約93kgの物をごみにせず、リユースすることができました。

また、「ごみの分け方・出し方クイズ」も出題し、写真やイラストを見ながら、リサイクルマークの違いや、ごみの分別について、真剣に考える子どもたちの

姿が見られました。

お越しいただいた皆さま、ありがとうございました。


梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会では、これからも適正なごみの分別方法や出し方、減量方法について、協議や啓発活動に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会  
環境整備課 環境推進係


**ごみの出し方・分け方クイズ**

次のうち、ペットボトルにリサイクルできないのはどれでしょう？


①



②



③



正解は・・・③番



(左)透明・(右)色付き

★温かいお茶などの色がついているペットボトルは、梶原町ではリサイクルに出すことができません。粗大ごみに出すようにしましょう。

## 第12期若者定住対策審議会スタート

10月3日（月）、第12期若者定住対策審議会を開催しました。

会議に先立ち、町長より8名の委員の皆様へ委嘱書を手渡ししました。その後、町長から会長へ「若者世代に選ばれる梶原町の在り方」居住地決定要因と今後も暮らし続けるために必要な条件について諮問されました。

これから、複数回会議を開催し諮問に対する答申を行う予定です。「若者定住の必要性」や「若者が暮らしやすいまちづくり」について話し合い、若者の梶原に対する愛着がどうすれば育まれるのか、梶原の輝く未来実現に向けて取り組んでいきます。

委員については、次のとおりです。任期は令和4年10月3日から令和6年3月31日までです。

まちづくり推進課

### 第12期若者定住対策審議会委員

- |     |        |         |
|-----|--------|---------|
| 会長  | 大町 希   | 祐 希     |
| 副会長 | 玉川 伊代  | 元 菜     |
|     | 高橋 元氣  | 和 樹     |
|     | 中越 テン  | ボーガルト陽平 |
|     | アウテ 欣士 |         |
|     | 田尾 京子  |         |
|     | 前田 里奈  |         |
|     | 森 光    |         |



町長から会長へ諮問



# 敬老の日おめでとう

## 長寿者訪問

9月12日(月)、13日(火)、14日(水)の3日間、敬老の日に先立ち、95歳以上の在宅で生活されている30名を吉田町長が訪問し、記念品と祝状を贈りお祝いをさせていただきました。

当日は短い時間での訪問となりましたが、みなさま素敵な笑顔で出迎えていただきました。日ごろの生活で気をつけていること、苦あり楽ありの豊富な思い話を聞きし、健康的に長生きするための秘訣なども聞かせていただきました。来年も元気でおいでできることを楽しみにしています。

## 祝 百歳

今年度、めでたく百歳を迎えられる6名の方に、内閣総理大臣より、祝状と記念品の銀杯が贈られました。

## ● 百歳

年齢順(敬称略)

- 横 貝 川上 福恵
- 太田戸 岡本 文代

- 本も谷 長山 絹恵
- 六丁 奥谷 春子
- 太田川 西森 千代子
- 仲久保 下村 富士子

## ● 長寿者

(令和4年11月1日現在95歳以上) 57名

年齢順(敬称略)

- 西町 下元登喜子 一〇四
- 川西路 市川喜代子 一〇三
- 後別当 中越 政恵 一〇二
- 広野 竹田八重子 一〇一
- 田野々 沖田八代恵 一〇一
- 広野 明神 春美 一〇一
- 横 貝 川上 福恵 一〇〇
- 太田戸 岡本 文代 一〇〇
- 本も谷 長山 絹恵 一〇〇
- 六丁 奥谷 春子 一〇〇
- 太田川 西森千代子 一〇〇
- 仲久保 下村富士子 一〇〇
- 太田戸 西川 富恵 九九九
- 田野々 川上 信恵 九九九
- 六丁 中越 歌美 九九九
- 宮野々 明神 和佐 九九九
- 松原 吉村 房枝 九九九
- 松原 久岡 吉亀 九九九
- 上本村 岡田 慰子 九九八
- 下本村 山内マルミ 九九八
- 田野々 中越 梅子 九九八
- 本も谷 松浦兵太郎 九九八

- 仲洞 森野 竹春 九八
- 広野 稲葉ユキエ 九八
- 松原 久岡 笑子 九八
- 神の山 白瀧美代子 九七
- 六丁 中岡 福美 九七
- 北町 河野 富恵 九七
- 飯母 下元千代喜 九七
- 大野地 近森 城子 九七
- 島中 吉村 廣美 九七
- 井の谷 中越 富善 九六
- 田野々 川上 磯恵 九六
- 東川 吉岡 英雄 九六
- 東川 白石彦三郎 九六
- 本も谷 長山 文恵 九六
- 坪野田 本田みさか 九六
- 東町 掛橋美佐子 九六
- 川西路 河野 貞子 九六
- 太田川 名持 澄子 九六
- 上西の川 西村 貞雄 九六
- 宮野々 上田 玉子 九六
- 上成 安井佳女子 九六
- 松原 久岡 清子 九六
- 太田戸 白石千恵美 九五
- 中の川 今城 操 九五
- 中の川 廣瀬 宗子 九五
- 後別当 三本 藤代 九五
- 南町 中越 利明 九五
- 西町 門場 洋子 九五
- 上西の川 中越 磯美 九五
- 広野 西添 光子 九五
- 宮野々 古井 茂子 九五

## ● ダイヤモンド婚

(結婚60年) 10組 順不同(敬称略)

- 田野々 伊藤 絆一・美重子
- 田野々 片岡 嘉春・弘子
- 永野 高橋 良一・由子
- 川西路 市山 壽幸・あや子
- 松谷 吉村 三夫・佐百美
- 下西の川 家森 健・恵猪子
- 大野地 中越 金利・土亀子
- 影野地 氏原 義章・達子
- 中平 吉村 巖・祥子
- 島中 久岡 豊・喜美

## ● 金婚夫婦

(結婚50年) 23組 順不同(敬称略)

- 下本村 川上 豊雄・清子
- 下本村 坂本 宗忠・静子
- 田野々 沖田 幸一・志那子
- 東川 佐竹 三夫・英子
- 東川 長山 亀一郎・照子
- 茶や谷 中岡 俊輔・京子
- 六丁 中岡 宏昭・美和
- 六丁 大川 直大・博子
- 上折渡 矢野 敬明・法
- 大蔵谷 又川 良治・津八子



- 東町 中平 俊一・博恵
- 西町 氏原 隼雄・迪
- 川西路 川上 幸男・満恵
- 飯母 玉川 義照・太得子
- 太郎川 谷田 悟・文代
- 豊原 石川 清利・弘子
- 川井 中越 博・博子
- 川口 中越 康文・秀子
- 仲間 中越 豊明・浜子
- 竹の藪 西村 昭雄・みどり
- 広野 明神 武美・恵子
- 上成 林 清重・久美
- 松原 吉村美佐男・富紀恵

(年齢は令和5年3月末日における満年齢)

本年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため各区の敬老会や高知新聞社・RKC高知放送・高知新聞社・会福祉事業団の主催による「第65回金婚夫婦祝式典」が中止となったことから、例年、各区の敬老会でお祝いさせていただいている結婚50年の金婚を迎えられたご夫婦、結婚60年のダイヤモンド婚を迎えられたご夫婦、33組についても記念品と祝状を贈りお祝いをさせていただきました。



保健福祉課

### 「すくすく子育て中」 「カンガルーのおなか」 梶原町地域子育て支援センター

10月17日(月)、雲の上の図書館にて、昨年度も好評であった安芸郡田野町のアロマセラピーインストラクター濱渦千里先生をお招きし、アロマを使った自然療法とホームケアについてお話いただきました。

当日は、3組の親子が参加し、赤ちゃんでも飲むことができるハーブティーを飲みながら、その効能についてお話を聞きました。免疫力が上昇し、風邪の諸症状の緩和や精神安定、また母乳育児でお薬を飲めないお母さんにも良いとのことでした。香りも良く、ゆったりとした気持ちでお話が聞けました。

その後、アロマスプレー作りをしました。先生がたくさんの精油を用意してくださり、その中から自分の好きな香りを3点選びました。みなさん真剣に精油の香りを楽しみながら、アロマスプレーが完成しました。

会場は、良い香りに包まれ、赤ちゃんもお母さんもゆったりとしていました。このアロマスプレーはただ香

りを楽しむだけでは無く、鼻から吸収した香りが植物の持つ薬理効果により自律神経やホルモンのバランスを司る視床下部へ直接働きかけることで、気持ちを落ちつかせたり、身体機能を高めたりするとのことでした。虫除けや抗菌・消臭にもおすすめです。マスクの表にスプレーして使用したりするということができます。

その後、ベビーマッサージを服を着たままま行いました。大好きなママの手で曲に合わせベビーマッサージを行うと、みんなにこにこ気持ちよさそうにしていました。

大切なことは、毎日2、3分でもいいので触れてあげることです。育児の時間は一生に換算するとほんの少しです。これからも、赤ちゃんとの貴重な時間

を大切にしたいですね。

梶原町地域子育て支援センター「カンガルーのおなか」は、本コーナーで週3日(土・日・月)に支援員が常駐し、育児相談や親子の交流の場として様々なイベントを行っています。月曜日は育児サークルもありますので、気軽に遊びに来てください。

教育委員会



# 「みんなで医療を考える月間」 上手な医療のかかり方について考えていきましょう



## 【みんなで医療を考える月間】

11月は厚生労働省で定められている「みんなで医療を考える月間」となっており、上手な医療のかかり方についての普及啓発に力を入れています。

この取り組みは受診の必要性や医療機関の選択等を適切に理解することで、必要な時に適切な医療機関にかかることができること、医療提供者側の過度な負担が軽減されることで、医療の質、安全の確保につながることを目的に行われています。

## 【かかりつけ医を持つこと】

では、上手に医療にかかるためにはどうすれば良いでしょうか。その1つに「かかりつけ医」を持つことがあります。「かかりつけ医」とは「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は、専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」をいいます。

かかりつけ医がいることで相談がしやすくなることはもちろんですが、日頃の生活を知ってもらっていることで体調の変化や病歴、体質などに照らして診てもらえます。

## 【かかりつけ医を選ぶポイント】

「かかりつけ医」はどのような視点で選ぶと良いでしょうか。ポイントとしては4つあります。

- ①話をしっかり聞いてくれて、健康に関することを何でも相談できる
- ②病気、治療などについてわかりやすく説明してくれる
- ③身近で頼りになる
- ④必要に応じて、専門医や医療機関を紹介してくれる医師です。

医師が適切に診断する上でも、自分が感じている症状、不安に感じていることなどを積極的に伝えましょう。また、かかりやすさという観点からもかかりつけ医は身近であることが望ましいです。

## 【緊急時の相談窓口】

「家族の様子がなんとなくおかしいけど、救急車呼んだ方がいいのかな」「具合が悪いけどすぐに病院に行った方がいいのかな」など、判断に迷うことがあると思います。そんなとき、専門家からのアドバイスを受けることができる電話相談窓口があります。【図1】電話口でお話を伺い、病気や怪我の症状を把握して、救急車を呼んだ方がいい

か、急いで受診した方がよいか、受診できる医療機関はどこか等を案内します。判断に迷う場合にはまず相談しましょう。

【図1】



## 【自分の価値観にあった医療を】

「自分の価値観にあった医療をしよう」  
うけるために人生会議をしよう  
日ごろから本人や家族の大切に行っていることや、どのような医療・ケアを望んでいるかについて、自ら考え、また、信頼する人たちと話し合う「人生会議」をしておくことが大切です。

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気や怪我をする可能性があります。命の危険が迫った状態になると約70%の方が、これからの医療やケアなどについて自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなるといわれています。

人生会議は、自分の価値観や希望する内容を元にして医療やケアについて自身の家族や医師など信頼できる人達と共有することを目的にしています。希望や思いは、時間の経過や健康状態等によって変化していくものであり、一度で決まるものではありません。人生会議を重ねることで、意思表示

が難しくなった時でも本人の意思が共有できれば、本人の希望を医療に伝えることができます。もし、本人の希望が分からない中で家族だけで決めていかなければならない状況では、家族間で意見の違いが生じたり、判断した後も、「これで良かったのか」等、自問自答したり後悔することもあり、家族の精神的負担が大きくなります。

元気なうちから、どんな治療やケアを受け、最後はどこで誰とすごしたいのか、共有する機会を作っていきましょう。

## 【問合せ先】

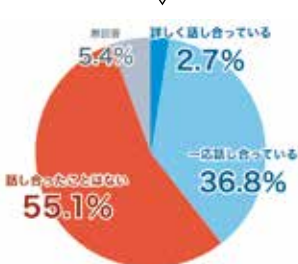
保健福祉課地域包括支援センター

☎ 65-11170

【図2】家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し合うことについて



【図3】人生の最終段階における医療・療養に関する家族等や医療介護関係者との話し合いの状況



出典：平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査(厚生労働省)



# 栲原こども園だより



ブブー♪



## 絵本をいただきました

毎年絵本を寄贈して下さっている、「東京雲の上の会」から今年も絵本をたくさんいただきました。



木のツルでブランコ♪



何があるかな？  
あっ！魚！！



## 矢崎の森に行ってきたよ！

4歳児きりん組と5歳児ぞう組が、矢崎の森に行ってきました。

森林の文化創造推進課の方や、山の植物に詳しい中平勝也さん(百一草園)をはじめ地域の方が

豊かな感性が育んでいけるよう、絵本の読み聞かせに活用するとともに、子どもたちが自由に絵本を選んで親しむことができるようにして、各組で大切に読ませてもらっています。

一緒に行ってくれました。中平さんには山に生育している植物の事を教えてもらったり、木のツルを使ってのブランコや木登り、山の斜面滑りなどができる場所を教えてくださいました。中には服の汚れなどを気にする子どももいましたが、一度体験するとどの遊びも面白かったようで、「もう一回！」と繰り返し遊んでくれました。日ごろなかなか経験できない体験をさせてもらいました。



## 保護者の読み聞かせ

10月27日から秋の読書週間が始まり、それに合わせてこども園では幼児組の保護者による絵本の読み聞かせが始まりました。子どもたちはお家の人の読み聞かせを楽しみにしていて、真剣な表情で聞き入っています。



一部の記事はホームページでも見ることが出来ます。

<http://www.yusuharakodomo.jp/>





# 梶高だより



## 体育祭

9月10日(土)

梶原高校体育祭が、3年ぶりに開催されました。感染拡大防止のため、競技種目の内容を変更し、時間を短縮しての開催です。当日は、朝から小雨模様。準備を進めてきた生徒たちの願いが通じたのか、最後まで本降りになることもなく、予定通りの種目が行われ、大いに盛り上がりました。



体育祭

## 避難訓練

9月15日(木)

本来は、YURURIゆすはら・梶原こども園と合同で開催する予定でしたが、感染予防のため梶高の単独実施となりました。まず、地震の初期対応と火災からの避難(一次避難)を行い、その後二次避難訓練として、町役場前駐車場へ移動をして起震車体験・けむり体験をしました。

## 芋掘り

9月21日(水)

農業コースの実習の時間、梶原こども園の園児たちと一緒に、芋



避難訓練



芋掘り

## 中学生体験入学

9月22日(木)

県内外から約60名の中学生が参加し、体験入学が開催されました。当日は、学校説明の後、授業体験、部活動体験などがありました。中学生たちは熱心に参加していました。なお、当日新型コロナウイルス感染症対策で参加できなかった梶原学園9年生約10名には、10月3日に改めて対応しました。多くの中学生の皆さんの受験をお待ちしています。



中学生体験入学

## 脱藩マラソン

10月9日(日)

梶原町の一大イベント「第9回龍馬脱藩マラソン大会」が3年ぶりに開催され、全員が大会ボランティアとして参加しました。

梶高生の主な仕事は、前日の準備、当日の放送係、メダル係、ごみ収集係、各給水所のエイド係(給水係)、大会終了後の片づけ等でした。そして何よりも大切なのが、選手への応援(声援)です。新型コロナウイルス対策として大声での応援はできないものの、応援用ステイックバルーンや神楽用の楽器(ゴール付近)で、大会を盛り上げました。選手の方々との交流は、生徒たちの貴重な体験になりました。



脱藩マラソン

# 雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900

## 最新の遊び&学びを実感

須崎市「てくテックすさき」を訪問しました



これからの未来を担う子ども達が集い、各自が自由な発想で遊びと学びを行き来する素敵な施設「てくテックすさき」をご存知でしょうか。ゲームや音楽など様々な分野の製作に必要な最新機材を揃え、教育や芸術のスキルを持つ職員が常駐するこの場所は、子ども達の新しい気づきや出会いに満ちています。11月から雲の上の図書館で始まる連続講座では、てくテックすさきを丸ごとお招きして各種ワークショップを開催予定です。お楽しみに！

## 木と木のコラボレーション

マリンバ奏者、山下恵理さんを招いて



磨き上げたローズウッドを音階順に並べ、金属パイプによって響きを増幅させる楽器マリンバ。この楽器の先駆者である世界的演奏家、安倍圭子氏の直弟子である山下恵理さんとその生徒の皆さんを招いて、ミュージックライブラリーを開催しました。木を叩くことで生まれる素朴で温かい音色と、伝統的な木組みを大胆にアレンジした隈研吾氏の特徴的な建築デザインが融合し、他の場所ではあり得ない唯一無二の空間が生まれました。

## 目線を変えると、面白い！

『料理メニューからひもとく歴史的瞬間』

著: ヴィンセント・フランクリン他

人類の歴史とともに発展してきた料理。時代を動かす事象の裏には象徴的なメニューがあった！ネアンデルタール人の食生活から宇宙食まで、世界中から選りすぐりの料理メニューを紹介する。



## 本で感じる、食欲の秋

『お魚イラストレシピ大百科』

著: 大垣友紀恵

お魚の姿から美味しい一品に調理するまでを、可愛くわかりやすいイラストで解説。和風、洋風取り混ぜて19魚種147のレシピで、今まで取っつきにくかった魚料理にチャレンジしたくなるかも？



ご紹介した本が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

12月の休館日 (29、31は18時まで)  
6、13、20、27、30

1月の休館日 (3は18時まで)  
1、2、4、10、17、24、27、31

対策実施中



# 12月の行事予定

- 5日(月) 人権相談・行政相談
- 10日(土) 大越粗大ごみ受入日・環境整備デー
- 20日(火) 梶原町交通安全の日
- 23日(金) 梶原学園 2 学期終業式
- 23日(金) 梶原高校 2 学期終業式
- 27日(火) 消防団年末警戒パトロール (30日まで)



# 12月の保健福祉課行事予定

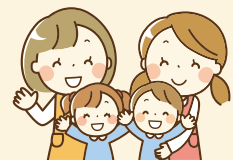
- 1日(木) 四万川宅老
- 2日(金) 初瀬いきいき
- 5日(月) げらげら家族会  
人権・行政相談
- 7日(水) 松原サテライト
- 8日(木) 東区宅老
- 8日(木) 越知面デイ
- 12日(月) あゆみの会
- 13日(火) 愛育相談
- 15日(木) 四万川宅老
- 16日(金) 東区いきいき



<b>インフルエンザ予防接種予定</b>	1日(木) 保健福祉支援センター(終日※夜間接種あり)
	8日(木) 四万川診療所(午前中)
	15日(木) 保健福祉支援センター(終日※夜間接種あり)

- 毎 週 月 曜 日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時～  
※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。
- 毎 週 水 曜 日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)
- 月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)  
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。  
(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

ゆすっこ相談センター相談日 6日(火)、13日(火)、20日(火)、27日(火)  
川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 19日(月)、20日(火)



※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。

※行事予定は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今後変更となる可能性がありますのでご了承ください。

## 高知県立高知城歴史博物館

## 催し物のお知らせ

**没後150年 山内容堂～鯨海酔侯の見た幕末維新～**  
【後期「報恩と勤王の狭間で」】  
開催期間：【後期】 令和4年11月2日(水)～12月11日(日)

高知城歴史博物館では、15代土佐藩主山内豊信(号容堂)没後150年の節目を記念して、企画展を開催中です。後期展示では、「大政奉還建白書草稿」や「王政復古の大号令」、「徳川慶喜追討令」など初公開を含む幕末維新を象徴する重要資料を多数展示します。

- 大政奉還記念週間：11/10～11/13 はすべての方が観覧無料!
- 観覧者プレゼント：観覧者先着 2500名に小冊子「ようどう、ナニモノ」をプレゼント!

【観覧料】観覧料：700円(高校生以下と県内65歳以上の方は無料)

【時 間】9時～18時 日曜のみ8時00分～18時00分 ※展示室への入室は閉館30分前まで





# ゆすはら地域おこし協力隊「森林の循環に取り組みたい！」

ゆすはら地域おこし協力隊として、梶原に移住してきた高橋亮多さん。将来は、森林づくりをしつかり担う人材になれるように、日々様々な刺激を受けながら、造林や素材生産、木工について勉強中です！



ゆすはら地域おこし協力隊  
たかはし りょうた  
高橋 亮多 さん

## 心の故郷・梶原にてチャレンジ

私は、今年の4月に兵庫県西宮市から移住してきました。梶原へは、15年前の西宮市と梶原町との交流事業「ゆすつこみやっこ」に参加した時に初めて訪れました。その際に見た梶原の自然や町並み、ふれあった人の温もりが私の大切な思い出となっています。そして、新しいことにチャレンジするならば、思い出深い梶原でやってみたいと思いました。

## 森林・林業の技術習得に励む

現在、ゆすはら地域おこし協力隊として、林業の担い手となるべく、



伐採技術の習得に向けて奮闘中！

林業事業者の下、研修に励んでいます。山の歩き方もまだまだ半人前ですが、造林や伐採等の林業技術の習得に向けて、日々勉強中です。また、森林ふれあいイベントの開催に向けて、木工品づくりの準備を手伝うこともあります。特に木工や炭焼きといった木を活用する活動は、森林の循環にとって重要な取り組みであると考えていますので、力を入れて学んでいきたいです。



木工体験の準備に挑戦

当初、梶原での生活は楽しみと同時に、不安もありました。移住して約半年が経ちましたが、豊かな自然に囲まれて、心穏やかに生活しています。林業現場では新しいことを体験する毎日で、大変なこともありますが、共に林業を学ぶ地域おこし協力隊の仲間と力を合わせて、ひとつずつ技術を身につけていきたいと思っています。将来は、しっかりと根を張る樹木のように大きく成長し、梶原の森林づくりをしつかり担ってきたいと思っています。

## 森林の文化創造推進課

## しっかりと根を張る樹木のように

## 編集後記

11月。別な言い方をすれば霜月。何やかやと、仕事に追われるうちに今年も、あと一ヶ月と少して終わってしまう。なんと一年の短い事が。

11月に入ってから、稲木米の脱穀をしました。昔から越知面地区の神祭のころに行っていたと、誰かが話していました。私は、毎年6反ほどの水田で、米を作っています。そのうち2反で、稲木米をやっています。これは天日干しの米がほしいと依頼されて作っていますが、大変です。コンバインの収穫だと、条件がよければ、一反あたり2時間もあれば終わるところ、バインダーでの刈り取り、そして、稲木を作って一束一束竹のサオに掛けて行く訳です。まあ、楽しんで仕事ができると思えば楽しいですが、一束ずつ手に取っては掛けてゆくのですから、収穫の喜びはあると思います。

又脱穀にも、時間がかかります。米をおとして、稲木の片付け、ワラの処理に2日余り。都合4日ほどかかります。ドタバタしながら今年の田仕事も終わりました。

やれやれと一息ついた午後、葉の落ちた櫛林くしりんの中の小道を歩いてみました。天気が悪いせいか落ちついていて、少し寂しさも感じます。古い中国の言葉を借りるなら「悲秋」そんなところでしょうか。美しいとは言えませんが、私の好きな季節です。

毎年楽しみにしている時間ときです。

〈広報編集委員会〉